



2026年3月25日

各 位

会 社 名 三菱マテリアル株式会社
代 表 者 名 執行役社長 田 中 徹 也
(コード番号 5711 東証プライム市場)
問 合 せ 先 I R 室 長 織 田 慎 介
(電 話 番 号 0 3 - 5 2 5 2 - 5 2 9 0)

固定資産の減損損失（特別損失）の計上及び子会社の異動（特定子会社化）に関するお知らせ

当社は、2026年3月期第4四半期決算におきまして、固定資産の減損損失（特別損失）を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、当社の連結子会社である小名浜製錬株式会社(当社出資比率100%、以下「小名浜製錬社」)に対する増資（以下「本増資」）を決議しました。これに伴い、同社が当社の特定子会社となる見込みとなりましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 固定資産の減損損失（特別損失）の内容

当社は、中期経営戦略（2026～2028年度）において「資源循環ビジネスで未来を創る企業へ」という基本方針を掲げ、資源循環ビジネスのグローバル展開を推進するとともに、E-Scrapや銅スクラップなどを原料とする二次原料製錬の拡大を進めることとしています。また、収益性を高めるための抜本的構造改革についてもスピード感を持って実行しています。

小名浜製錬社は1965年に日本初の共同銅製錬所である小名浜製錬所の操業を開始して以来、設備の拡張・更新・改良を行いながら、60年以上にわたって一次原料である銅精鉱を主原料として電気銅を生産してまいりました。しかし、銅製錬事業を取り巻く外部環境は、海外製錬会社との競争が激化する中、鉱山会社から銅精鉱を購入する際の条件（TC/RC）が大幅に悪化しており、今後の見通しも不透明な状況にあります。こうした中、小名浜製錬社は、一部の工程を停止して、銅精鉱処理を縮小するとともに、固定費削減などのコスト削減対策を実施し、収益性の確保に努めてまいりましたが、このたび当社は、抜本的構造改革の一環として、2027年3月末を目途に同社小名浜製錬所における銅精鉱の処理及びこれに関連する製錬設備の稼働を停止することを決定しました。これに伴い、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を慎重に検討した結果、同製錬所の固定資産を中心に、2026年3月期第4四半期連結決算において計210億円の減損損失を計上する見込みとなりました。

なお、E-Scrap及びシュレッダーダストの処理については、本決定に伴い、受入停止もしくは小名浜製錬所以外の当社グループ生産拠点への振替を行うことを予定しています。また、当社グループの銅アノード及び同製錬所で処理するスクラップ由来の銅アノードを精製するため、現在稼働中の電解工場は引き続き操業いたします。さらに、白金やパラジウムのリサイクル及び精製を行うPGM工場や、当社グループの伸銅品事業向けインゴットを製造する鑄造工場など、銅精鉱処理に直接関連しない設備についても稼働を継続いたします。

2. 子会社の増資（特定子会社化）について

1) 経緯及び理由

銅精鉱処理停止に伴って減損損失等が発生することにより、小名浜製錬社は債務超過となる見込みです。当社は、同社の抜本的な収益改善及び財務基盤の健全化を図るため、当社から同社への貸付金について、230億円を上限として、同社の普通株式に転換（増資）することといたしました。

2) 対象会社の概要

(1) 名称	小名浜製錬株式会社			
(2) 所在地	福島県いわき市小名浜字渚1-1			
(3) 代表者の役職・氏名	取締役社長 川崎 昌之			
(4) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・非鉄金属の受託製錬及び加工 ・硫酸その他無機工業製品の製造・販売 ・一般廃棄物及び産業廃棄物の処理 			
(5) 資本金	(本増資前) 6,999百万円			
(6) 設立年月日	1963年12月5日			
(7) 大株主及び出資比率	当社100%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社の連結子会社（本増資後は特定子会社となる見込み）です。		
	人的関係	当社から取締役6名等を派遣しています。		
	取引関係	当社から銅製錬を受託しています。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
	純資産	12,590百万円	8,120百万円	9,330百万円
	総資産	43,586百万円	44,366百万円	47,620百万円
	1株当たり純資産	899.33円	580.03円	666.46円
	売上高	32,243百万円	31,305百万円	32,759百万円
	営業利益	2,111百万円	△3,842百万円	2,013百万円
	経常利益	1,065百万円	△4,906百万円	1,253百万円
	当期純利益	1,459百万円	△4,470百万円	1,209百万円
	1株当たり当期純利益	104.26円	△319.29円	86.42円
	1株当たり配当金	—	—	—

3) 本増資の内容

(1) 増資前の資本金及び出資比率	6,999百万円、当社100%
(2) 増資の額	最大230億円
(3) 増資の実施日	2026年6月30日までに実施予定
(4) 増資後の資本金及び出資比率	最大299億円、当社100%

4) 日程

(1) 取締役会決議日	2026年3月25日
(2) 本増資実行日	2026年6月末まで

3. 今後の見通し

上記の減損損失は、2026年2月12日に公表いたしました通期連結業績予想に織り込んでおり、また、本増資による2026年3月期通期連結業績への影響は軽微です。

以上